

安倍成長戦略を先取りする 林市長・オール与党市会を 変えよう

市民に冷たく、安倍政権の横浜版予算がスタート

横浜市予算は1月27日林市長の記者会見により発表され、3月20日市会本会議にて賛成多数（日本共産党市議団は反対）により決定しました。予算のタイトルは「未来を見据えて力強く前進する年」としています。そして「人口減少、超高齢社会の到来、公共インフラの老朽化など克服すべき課題に直面する今、将来に向けて必要となる『人』や『企業』、『都市』への投資を積極的に盛り込みました」そして事業優先度を見極めるとしました。歳出の特徴は、施設整備費2360億円（大きな部分が高速道路・港湾建設など）となり大型公共事業推進になっています。扶助費は4377億円（子ども・子育て支援関係等）となり政策的経費が少なく硬直化した予算になっています。

市民生活では、小児医療費助成は小1から小3年生（10月から）に拡大、寡婦みなし控除適用、崖地対策費などが前進しています。しかし、中学校給食実施や35人学級の拡大、特別養護老人ホーム建設、住宅リフォーム助成制度、公契約条例制定などは前進していません。こうしたことから林市長は安倍政権の成長戦略にある特区導入・カジノ誘致や2020年東京オリンピックに間にあわせる新市庁舎整備など自民党政権の横浜版を進めています。

こうした林市長を市議会から変えるために4月3日告示、4月12日投票の市議会選挙は重要な選挙です。市民の市長をつくる会に参加している日本共産党市議会議員（現在5名）を大幅に躍進させるために頑張りましょう。

第38回総会のお知らせ

市民の会幹事会は、第38回総会の予定を決めました。

日時 8月29日（土）
午後3時から5時まで
会場 波止場会館
ビヤパーティ・午後5時から
会費 4000円（1名）

市民の会ニュース

市民の市長をつくる会 N0188号
横浜市中区桜木町3-9平和と労働会館内
TEL・FAX 045-650-1896
発行責任者 菅野 隆雄
2015年3月30日 メール mailoy-simi.jp